

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第1回上越市立図書館協議会

2 議題等(全件公開)

(1) 任命書交付

早川教育長による各委員への任命書手交

※欠席委員には、後日事務局より任命書を送付

(2) 協議事項

正副委員長の選出について

上越市立図書館条例施行規則第20条第1項の規定に基づき、互選の結果、
委員長に、小埜委員

副委員長に、上原委員

を選出。

(3) 報告事項

ア 令和2年度上越市立図書館事業実績報告について (資料1)

イ 令和3年度図書館こども祭の開催実績について (資料2)

ウ その他

3 開催日時

令和3年7月13日(火) 午前10時00分から

4 開催場所

直江津学びの交流館 2階 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 出席した者(傍聴人を除く。)氏名(敬称略)

・委員：赤松委員、上原委員、大堀委員、小埜委員、高野委員、西條委員、八田委員、柳沢委員

・事務局：早川教育長(挨拶の後、公務のため退席)

岩崎社会教育課副課長、小暮高田図書館長、布施副館長、大島副館長、山本係長、米持直江津図書館長、横手副館長、内山上席司書、小林主任司書

7 発言の内容（要旨）

<上越市立図書館条例施行規則第 20 条第 2 項の規定により小笠委員長が議長となる>

○令和 2 年度上越市立図書館事業実績報告について

- 事務局 : 別紙資料 1 により概要説明
- 赤松委員 : 資料 1 - 2 の「8 利用者登録の推進」にある、「良品計画いつものもしもキャラバン」について、どういったことを行ったのか教えてもらいたい。
- 横手副館長 : 催しは良品計画が各地において行っている、地域の方々に防災意識を高めてもらうことをテーマにしたイベントである。主に防災グッズやキャンプ用品など、もしものときに役立つ商品を海浜公園にブースを出して販売していた。直江津図書館にも参加の声かけがあり、キャンプやサバイバルに役立つ本など約 100 冊を持ち込み、ブースをひとつ借りて来場者に貸出を行った。また、会場内のたき火のコーナーでは、たき火を囲みながら読書ができる「たき火図書館」を開催し、非常に好評を得た催しであった。
- 赤松委員 : 外部との連携はとても大切だと思っている。この 7 月 4 日には、「絵本で話そう SDGs」という催しが直江津図書館で開催されており、そういった催しを呼び込むことは大変素晴らしいと考えている。
- 議長 : 昨年度はコロナ禍ということで、図書館の運営も大変難しいものだったと思っている。そんななかで、1 開館日当たりの利用件数や、1 人当たりの貸出冊数についての資料を提示してもらっており、コロナ禍にあっても図書館がどのように活用されていたのか、市民にとって重要な機能を果たしていたのかがわかると思っている。令和 2 年度はコロナの初年度であり、予定していた催しもなかなか思うようにできなかったと思うが、令和 3 年度については、令和 2 年度の経験を踏まえ、どういったかたちで事業等を実施していけばいいのか、ある程度見通すことができるものと思っている。

○令和 3 年度図書館こども祭の開催実績について

- 事務局 : 別紙資料 2 により概要説明
(特に質疑、意見なし。)

○その他

事務局 : 令和3年度予算執行の進捗状況について報告

議長 : 事業計画における執行状況は概ね予定どおりということか。

布施副館長 : 概ね予定どおりだが、催しを企画、実施し、それに合わせて新たな利用者呼び込むという部分では、コロナ対策を優先する都合上、実施できていない。

議長 : 図書館の本来の機能だけでなく、安らぎの場であったり、賑わいの創出であったり、図書館に求められる機能は今後、さらに大きくなっていくと思っている。図書館協議会においては、各図書館のさらなる充実を考えていく必要があると思っている。

(議事終了)

事務局 : 図書館協議会は年に3回または4回、開催している。次回は10月末から11月初め頃の開催を予定している。本日はありがとうございました。

8 問合せ先

教育委員会社会教育課高田図書館 TEL : 025-523-2603

E-mail : t-toshokan@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料もあわせて参照ください。